仕事が楽しい人Ｆｉｌｅ．３５：谷口憲子さん（離婚カウンセラー）

◆不倫は誰も幸せしない
今回ご紹介する谷口さんの職業は、カウンセラー。
カウンセラーとは、誰もが聞きなれた職業のようですが、その仕事の実際に触れる機会は、あまりないのではないでしょうか。
人の悩み事の相談にのるカウンセラーには、教育や医療、福祉や介護、産業など分野別に様々な種類があるようです。
谷口さんが専門とする分野は、なんと、
“り・こ・ん”
離婚の相談に乗る、カウンセラーです。

相談の依頼は、インターネット検索からの問い合わせがほとんどで、
３分の２が女性、３分の１が男性という構成比になっているようです。

離婚問題が生じる原因の大部分は、不倫。

谷口さんの話によると不倫は男女問わず、世の中に蔓延しているようです。
ネットで簡単に他者と知り合える環境や
家族との結びつきの希薄化
などなどが誘引となっているのではないかと、谷口さんは分析しています。
例えば、子どもが生まれると、

ご主人のことを放っておいて、子どもだけに愛情を注ぐ奥さん。
帰宅の時間が遅くなると、妻も子どもも先に寝ていて、「お帰りなさい」も言われずに、
自分で簡単に調理をして食事をし、風呂に入って寝る。
このような生活を繰り返しているうちに、心のどこかにポッカリ穴があき、
ある時に、自分に興味を抱いていると思えるような女性と出会い、
そのまま不倫に走ってしまうというケースが一般的なのだそうです。

奥さんが、夫の不倫に気づかない場合には、
突然、夫から離婚を申し入れられるケースもあるようです。
この時に夫は、
「数年前のあの一言が、どうしても気になって」とか、
「君には愛を感じなくなった」
という、受け入れがたい理由を言ってきます。

谷口さんは、このような取り留めもない理由で離婚を申し入れてくるケースでは、
その背後に、かなり高い確率で不倫相手が、糸を引いていると断言します。

谷口さんが、これまで、１，０００人以上の離婚カウンセリングをしてきた上での経験談なので、説得力があります。

従って、谷口さんは最初に、不倫相手の特定から離婚相談の解決策の糸口を導きだすのだそうです。
離婚カウンセリングの核心に触れた話を聞いた私が、
「離婚カウンセリングって、かなり立ち入った対応をするのだな」と、
どぎまぎした表情を浮かべると、谷口さんは、
「“不倫は、誰も幸せにしない”のだから、絶対にやめさせるべきなんです」
と、キッパリとした口調で、私に訴えかけてきました。
「不倫が原因で、別れなければならない妻や子どもたちは当然として、
不倫相手と再婚しても、結局は、また、同じことをしてしまうのではないかという疑念をお互いに抱え込むのだから、幸せな家庭を築ける道理がないんです」
と、谷口さんに解説されて、私は、
「ごもっとも」と、納得できましました。

◆谷口さんが大切にするキーワード
一生懸命、精一杯
やるときには、とことんやろう。

ここまでやったら十分だよと、心から自分で自分を認められれば、
自ずと次の道が開けるのだから。

◆谷口さんのパワー〇〇
花や植木の世話。特に、クリスマスローズが大好き。
どんなことがあっても、植物に触れると気分が和みます。

◆谷口さんのコツコツ
押し花。７年ほど続けています。
結婚する息子さんのウェルカムボードも、押し花で作成しました。

◆谷口さんのカウンセリングが熱いわけ
谷口さんから、離婚カウンセリングの詳細を聞いて私は、
カウンセリングとは、単なる悩み相談ではなく、発生している問題の解決策を指南する仕事なのだと理解しました。
感情的になっている相談者から、その思いのたけをしっかりと聞き取り、
問題が発生した原因を特定した上で、最善の解決策を提示する。
このことを丁寧に繰り返すと、相談者は、冷静に事の次第を見つめられるようになります。
カウンセラーの仕事の第一歩は、相談者に平常心を取り戻させることにあるのだと、
谷口さんの話から、学び取れました。

谷口さんに、離婚カウンセラーが果たすべき使命を尋ねてみると、
「離婚を思いとどまり、夫婦が幸せな生活を取り戻すこと」
「お子さんがいらっしゃる夫婦なら、特にこの願いを心に秘めて接しています」
との答えが返ってきました。
では、どのくらいの確率で、離婚を止められるのですかと質問すると、
「もちろん、全てではありません。離婚してしまうケースも、多々あります。」
「でもね、平堀さん！」
「夫婦間で起きた問題を解決するために、相談者が、一生懸命に策を講じ努力をしたのであれば、結論がどちらに転ぼうと、悔いは残らないんです。もし、仮に離婚することになったとしても、心機一転、一からやり直せるはずなんです」
「だから、私は、大切なキーワードを“一生懸命”“精一杯”にしているんです」

谷口さんが、事例として教えてくれた不倫問題の解決策が、
・不倫相手に直接会って、別れるように交渉する
・夫の両親も巻き込んで、不倫相手に手を引くように直談判する

・夫に対しての接し方を、新婚当時に戻す
など、感情的なままでは、到底受け入れられないようなものばかりでした。

ここで、離婚カウンセリングのそもそもの出発点を思い起こさなければなりません。
それは、谷口さんを訪ねてくる相談者全員が、
“離婚しないためのアドバイス”を求めていることです。
ですから、「なぜ不倫をした夫にそこまでのことをしなければならないのか」と思えるような対策が提示されるのは、ある意味当然の流れです。
しかし、不倫についての話を聞いていると、ついつい私も感情的になり、
「そんな夫とは、とっとと別れてしまえばいい」との思いを心に充満させていました。

離婚件数の年次推移の統計データを確認すると、
１年間の離婚件数が、２０００年から２５万件を超えるようになりました。

お互いの自由意思で結婚をしたのですから、何があっても、人生を共に全うしたい。
これが、結婚した時に夫婦が抱く、紛れもない願いでしょう。

だとすると、合理的な観点から物事を捉え、離婚も止むなしとの風潮になっている近年において、離婚という結論を出す前に、なんとか離婚を食い止めたいと考える相談者の真剣さは、生半可なものではないはずです。
そんな方々に、できるだけの具体策を差し伸べる離婚カウンセラーは、結婚当初の願いを叶えたい夫婦の、最後の砦とも言えるのでしょう。

◆谷口さんのプロフィール
職業：離婚カウンセラー
所属：株式会社カラットクラブ（http://www.rikon.biz）

◆カウンセラーとは？
（13 歳からのハローワーク公式サイトに掲載されている職業案内から抜粋しました）
カウンセラーとは「相談員」のこと。専門知識を駆使して相談内容に対応するので、受ける相談の内容によって、様々な分野のカウンセラーが存在する。福祉関係のカウンセラーは、主に福祉サービスの窓口などで相談に当たる人たちで、その専門知識の内容によって、社会福祉士や社会福祉主事、精神保健福祉士などの資格を持つことも多く、強い専門分野を持つことが必要だ。その他、心理学の知識を用いるカウンセラーとしては、教育現場で相談を受けるスクールカウンセラーや、企業などで相談を受ける産業カウンセラーがいる。

◆に求められる能力
信念：不倫は誰も幸せにしないという強い思い
経験：実体験を含めた、相談に乗れるだけの豊富な経験
傾聴力：相談者の悩みを心から耳を傾け理解する力
伝達力：相談者が冷静になれるような話の仕方
専門知識：カウンセリングをする上で基礎となる専門知識